

県外派遣報告書

審判員名	數野 竜平	所属	U-12	
大会名	第38回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会ミニバスケットボールの部			
期間	令和元年7月26日～7月28日			
会場	ALSOKぐんまアリーナ			
スケジュール				
期 日	内 容	場 所		
7月26日(金)	審判会議	ALSOKぐんまアリーナ		
7月27日(土)	大会1日目	ALSOKぐんまアリーナ		
7月28日(日)	大会2日目	ALSOKぐんまアリーナ		
会議 講義 内容				
<p>講師 群馬県バスケットボール協会副審判長 星野 由貴 氏 群馬県バスケットボール協会審判委員 穂川 苑子 氏</p> <p>講義 群馬県バスケットボール協会審判委員 穂川 苑子 氏</p> <p>テーマ 正しい判定のために「審判員に必要なこと」 メカニックを中心にIOT、ガイドライン、を講義していただきました。メカニックはゲームをコントロールしスムーズに運営するために必要な技術であり、コート上のプレーに対応するために常に位置を変えていかなければならない。吹くか吹かないかの判定の部分では「原因」「理由」「根拠」が存在し、わからなかったはあってはならない。どこのコンタクトでファールを取り上げたか、Point Of Contact、「POC」を明確にする。</p>				
実技				
担当試合	期 日	7月27日(土)	男子 女子	予選Aブロック
	対戦カード	下妻ジャスティス VS 野田中央	副審	
	相手審判	穂川 苑子 氏(群馬県)		
ミーティング内容		主任 荻野 崇 氏(群馬県)		
<p>常に10点差で終盤まで下妻ジャスティスがリードする展開だったが最後野田中央が粘りを見せブザービートで逆転勝利を収める展開となった。両チームとも大きい選手が出場していて、どちらに責任があるかの判定を意識した。常にポジションアジャストを行い判定につなげるために、よりいい位置を探し続けなければならない。</p>				

実技				
担当試合	期 日		女子	女子3位リーグ
	対戦カード	高崎北部 VS 開桜MBC		副審
	相手審判	久代 真紀(神奈川県)		
ミーティング内容		主任 中島孝博 氏(群馬県)		
<p>序盤から体の接触が多かった試合でした。 体の寄せ方、責任がどちらにあるかの整理をもっとしっかりと行わなければならなかった。 時頼相手のプライマリーをジャストのタイミングで鳴らしてしまいかつシングルコールだった。相手の判定を お互いに尊重しあい試合中にもっとコミュニケーションをとって運営するべきだった。トレールの体の向きの 工夫を少し考えなければならない。</p>				
実技				
担当試合	期 日		男子	男子1位リーグ
	対戦カード	マジックジュニア VS 明治MB		副審
	相手審判	相木康岳 氏(千葉県)		
ミーティング内容		主任 飯島裕紀 氏(茨城県)		
<p>明治の主力選手が1名怪我で欠場し、終始マジックジュニアがリードする展開となった。両チームともアグレッシブなプレーが出ており、会場を魅了することが多かった。 その中で、主審の相木氏(千葉県)との判定の違い、タイミングを勉強させていただきました。見る位置、角度がずれていることが多く、同じプレーを判定しているが笛が遅くなってしまったことを試合中にご指摘をいただいた。位置、角度については、今後も追及していかなければならない。</p>				
全体の感想				
<p>今回派遣をいただいて様々な方に支えられ、多くの方に協力をしていただいていると実感しました。 穂川氏のレクチャーでは審判に必要なことというテーマでレクチャーをいただき自分なりにどんなことが必要なのか振り返るきっかけとなりました。今回の経験を必ず次に活かした活動を続けていきたいと思えます。 3日間群馬県の方には大変お世話になり感謝申し上げます。今後ともご教授ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。</p>				